

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391100100
事業所名	グループホーム 結

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 法人本部が町内会に加入し、地域情報を得ている。毎年保育園の運動会や敬老会の行事を通して交流を続けている。荒子川公園で開かれる季節のイベントに出掛けたり、傾聴ボランティアや太鼓、書道、サンタクロースなど地域のボランティアを受け入れ地域の方との関わりを大切にしている。特養の秋祭りに参加し、地域の方などと触れ合う機会を持つようにしている。また、実習生を受け入れ地域に貢献できるように努力したり、近隣の福祉会館を通して地域のつながりができるように模索をしている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 入居者や家族、民生委員、老人会長、地域の有識者、いきいき支援センター職員の参加を得て、小規模多機能と合同で年6回実施している。活動報告の他に、感染予防や脱水予防、お腹の体操教室などの勉強会を取り入れたり、グループホームの増床について情報提供や意見交換をしている。内容により、小規模多機能と別に協議をすることもある。今年度も運営推進会議の中で家族会を行い、家族の出席が多く好評である。会議案内は全家族世帯に配布をし、議事録はファイリングをして玄関に置いてある。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 更新手続き代行の折に、行政担当者に指導や助言を得ている。また、いきいき支援センターとは機会あるごとにサービスの内容を伝えたり困難事例の相談も受けたりして、協力関係を深めている。市主催の介護フェアや研修には積極的に参加している。また、介護フェアのブースを担当し、相談や事業の説明、司会などの運営を行っている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 入居者からは日々の関わりの中から、家族からは面会時や行事、運営推進会議、家族会等機会あるごとに意見や要望を聞くようにしている。ケアや接遇などについてユーザー評価を実施し、結果を運営に活かすようにしている。意見や要望は記録をして、カンファレンス等で話し合い運営に反映している。ホームだよりの配布や意見箱を設置し、意見が述べやすい環境を整えるようにしている。また、入居者の様子などを手紙にして毎月家族に配布し、安心感を届けている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	忍 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	-	-	-	-	○	○	○	○	○	◎	